

平成22年6月23日現在

研究種目：基盤研究（C）
研究期間：2007～2009
課題番号：19530849
研究課題名（和文）フランスにおける国語現行カリキュラムの理念と実践：コレージュを中心に
研究課題名（英文）Principle and of Practices of Current Curriculum of French : the case of secondary school in France
研究代表者 飯田 伸二 (Shinji IIDA)
鹿児島国際大学・国際文化学部・教授
研究者番号：60289650

研究成果の概要（和文）：

- (1) 1996年から施行されているコレージュフランス語カリキュラムの理念、特色を描出した。
- (2) 2009年から段階的に実施されている、コレージュフランス語カリキュラムの理念、特色を描出した。
- (3) 前期中等教育修了試験模擬問題集（＝Diplôme national du brevet : annale zéro）を翻訳した。
- (4) コレージュで全国的に実施されている前期中等修了試験のフランス語（＝国語）問題の分析。この作業により、義務教育課程修了時にフランスではどのようなフランス語の学力が求められているのかを解明した。
- (5) フランスの第6学級の国語教科書の分析。詩を扱う単元に絞り、フランスの中学校でどのような詩が選ばれ、それがどのように教えられているかを、教科書の内容から明らかにした。
- (6) 日本の中学校の主要国語教科書（光村図書、三省堂）の分析。詩を扱う単元に絞り、日本の中学校でどのような詩が選ばれ、それがどのように教えられているかを、教科書の内容から明らかにした。
- (7) 義務教育過程における落ちこぼれ対策である PPRE（教育成功のための個人プログラム）の理念と実施形態を解明した。

研究成果の概要（英文）：

- (1) Description of the philosophy and characteristics of the scholastic program of French for secondary school, which had been implemented since 1996
- (2) Description of the philosophy and characteristics of the scholastic program of French for secondary school, which had been phased since 2009
- (3) Translation of « Diplôme national du brevet : annale zero », the collection of the practice exam questions for the early part of the secondary education.
- (4) Analysis of the collection of French language exams, implemented nationwide in the secondary schools in France. As a result, the required scholastic ability levels for French language in order that one finish the compulsory education in France has been clarified.
- (5) Analysis of French language textbook for the sixth class. By focusing on the chapters which include poems, it has become clear what kind of poems were selected and how they were taught in the secondary schools in France.
- (6) Analysis of some of the major Japanese language textbooks for the junior high schools in Japan, such as Mitumura-Tosho and Sanseido, were analyzed. By focusing on the chapters which include poems, it has become clear what kind of poems were selected and how they were taught in the junior high schools in Japan.
- (7) Analysis of the philosophy and the implemental conditions of PPRE, the individual program for educational success, intended for students who fall behind the others.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2008年度	600,000	180,000	780,000
2009年度	300,000	90,000	390,000
年度			
年度			
総計	1,900,000	570,000	2,470,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教科教育学

キーワード：教育，国語，コレージュ（中学校），科目教育，フランス，落ちこぼれ

1. 研究開始当初の背景

近年フランスではさまざまな面から<学校>が国民的議論の的になっている。本来学校が果たしてきた文化的統合，市民性の付与，経済格差の軽減といった機能を学校が十分に果たしているのかが，問われている。深刻な危機に直面する学校教育において，国語という教科が置かれている状況も深刻である。

これまでの研究を進める過程で，小学校，コレージュ，リセ，バカロレアの現行国語カリキュラム根幹はコレージュのカリキュラムにあることが確認できた。すなわち，まずコレージュのカリキュラムが生まれ，その理念に沿う形で，リセ，バカロレア，そして小学校の国語カリキュラムが改正されたのである。

以上の点からして，コレージュにおける国語教育の実態調査・分析を基盤にフランスの国語教育の現状・問題点を浮き彫りにしようとする事は，フランスにおける国語教育を正確に理解する上で急務の課題である。

2. 研究の目的

これまでの研究で得た知見を活かしなが

ら、フランスのコレージュ，リセにおける国語教育の現状を解明することにある。具体的には3年間で以下の目的を達成することを目指す。

- 1) フランスの初等・中等教育で、1996年から導入されている国語の新カリキュラムの理念、特色を具体的に描き出すこと。
- 2) 新たなカリキュラムのもとで刷新された初期中等教育修了試験で出題された国語の試験問題の分析を通じ、具体的にどのような知識・能力が生徒に求められているのかを具体的に明らかにすること。
- 3) <読解力>さらに<文章力>の育成に力を入れるフランスの実例を記述・分析し、その問題を指摘すると同時に可能性を明示する。<読解力>低下が危惧される日本の国語教育にあらたなモデル・方向性を提示すること。

3. 研究の方法

本研究の学術的な特色・独創性は、単にカリキュラムを分析するだけでなく、テスト，試験の内容・出題意図なども分析の対象とし、フランスのコレージュ生徒に要求されている国語力をより具体的・実践的に捉えようとしている点にある。つまり、中

等教育で要求される国語力の実像を行政の視点からだけではなく、試験・テスト、つまりは生徒に課せられる作業・課題を通じて明確に描こうとする点にある。

4. 研究成果

(1) 1996年から施行されているコレージュフランス語カリキュラムの理念、特色、問題点を描出した。生徒の言語実践に基づいたこのプログラムは、ディスクールという概念を、学習項目の配分の軸にすえた。また、この結果、従来重視されてきた文法学習、ディクテ（書き取り）の重要性は低下した。また文学史、ジャンルの重要性も低下し、代わって若者向け文学、資料読解の重要性が増した。

(2) 1996年カリキュラムとの比較により、2009年から段階的に実施されている、コレージュフランス語カリキュラムの理念、特色を描出した。1996年のプログラムが教育現場で引き起こした反発、混乱を踏まえ、文法と文学史、ジャンルを重視した、きわめてオーソドックスな形式、内容になっている。

(3) コレージュ最終学年で全国的に実施されている前期中等教育修了試験のフランス語（＝国語）問題の分析。この作業により、義務教育課程修了時にフランスで求められているフランス語の学力なのかを解明した。

日本の高校入試に比べると、読解力はさほど必要ないと言える。問題文（長文）読解の鍵となる箇所の意味はリード文、問いに大抵は明示してあるからだ。一方、記号選択問題、穴埋め問題はない。その代わり、問いで示された意味が読み取れる根拠を問う問題が多い。日本よりも修辭、文法に詳しく、文章力に長けていな

いと正答を導きだすのが困難な問題である。

(4) 前期中等教育修了試験模擬問題集（＝Diplôme national du brevet : annale zéro）の翻訳。全体の6割しか翻訳ができなかったが、義務教育過程終了時にコレージュ生徒のほぼ全員に課せられる試験問題を翻訳することで、フランスで求められる国語力とはどのようなものかを具体的に知る手段を提供できた。

(5) フランスの第6学級の国語教科書の分析。詩を扱う単元に絞り、フランスの中学校でどのような詩が選ばれ、それがどのように教えられているかを、教科書の内容から明らかにした。フランスの教科書は、日本の教科書によく見られるように、詩を作者の感情の表出としては捉えていない。そうではなく、どの教科書も詩を言葉の構築物である点を強調している。日本とは根本的に異なった詩へのアプローチをしていることが明らかになった。

(6) 日本の中学校用の主要国語教科書（光村図書、三省堂）の分析。詩を扱う単元に絞り、日本の中学校でどのような詩が選ばれ、それがどのように教えられているかを、教科書の内容から明らかにした。日本の教科書では、生徒の折々の心理状態、生徒がおかれている状況（新学年、新学期、思春期、進路決定）に配慮した詩の選択、配列がされていることが明らかになった。

(7) 義務教育過程における落ちこぼれ対策であるPPRE（教育成功のための個人プログラム）の理念と実施形態を明らかにした。このプログラムの実施は、フランスの中等教育教員に対して、教え方、生徒・家庭との接し方、同僚との協力・

連携の仕方において、従来の実践とは大きな変更を迫る。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 5 件)

- ① Shinji IIDA, 「Le droit de rêver à l'école : la poésie dans les manuels de japonais pour le college (Chuggakko), *Études de langue et de littérature française de l'Université Seinan-Gakuin*, 査読無, n° 53, 2010, pp. 121-139.
- ② 飯田 伸二, 「文法の回帰 : 2009 年施行 コレージュ新カリキュラムをめぐって」, 『Stella』, 査読有, 28 号, 2009 年, 12 月, 67-78 頁.
- ③ 飯田 伸二, 「教科書の詩学 : フランスのコレージュにおける国語教育の現状」, 『Stella』, 査読有, 27 号, 2008 年 12 月, 91-112 頁.
- ④ 飯田 伸二, 「コレージュ版国語試験要綱」, 『国際文化学部論集』(鹿児島国際大学), 査読無, 第 9 巻第 1 号, 2008 年 6 月. 63 頁-78 頁.
- ⑤ 飯田 伸二, 「『コレージュ版国語試験要綱』を読む : フランスのコレージュにおける国語教育の現状」, 『Stella』, 査読有, 26 号, 2007 年 12 月, 59-74 頁.

[学会発表] (計 3 件)

- ① 飯田 伸二, フランスのコレージュ新カリキュラムについて : 旧カリキュラムとの比較, 日仏教育学会 2009 年度研究大会, 2009 年 10 月 11 日, 東京理科大学.
- ② 飯田 伸二, PPRE = Programme

personnalisé de la réussite éducative (教育達成のための個人プログラム) について : その理念とコレージュにおける実践, フランス教育学会第 27 回大会, 2009 年 9 月 13 日, 大阪大学.

- ③ Shinji IIDA, « Le droit de rêver à l'École : l'enseignement de la poésie dans le collège français et le *chugakko* », Colloque franco-japonais « Traduire le rêve », Université Seinan-Gakuin, 31 octobre - 1er novembre 2008, co-organisé par l'Université de Provence (Équipe CIELAM, Littérature française) et l'Université Seinan-Gakuin (Section française).

6. 研究組織

(1) 研究代表者

飯田 伸二 (Shinji IIDA)
鹿児島国際大学・国際文化学部・教授
研究者番号 : 60289650

(2) 研究分担者

()

研究者番号 :

(3) 連携研究者

()

研究者番号 :